

＜進修館高校の活性化・特色化方針＞
(令和3年度～)

1 学校基本情報

学校基本情報											
課程		全日制	学科	総合学科・電気システム科・ 情報メディア科・ものづくり科			生徒 数	(男)567 (女)366	計 933		
ホームページ		http://www.shinsyukan-h.spec.ed.jp/									
アクセス		秩父鉄道東行田駅から徒歩 8 分。 ／JR 吹上駅から行田車庫行きバス桜町下車徒歩 10 分。									
教育課程等 の特徴		・総合学科は文科探究系列・理科探究系列・総合教養系列・美術探究系列・商業探究 系列で、進路希望に合わせた「自分だけの時間割」で学習します。 ・工業系 3 学科は社会で戦力となるスペシャリストの養成を目指しています。 ・様々な資格を取得したり検定を受検したりできる機会が豊富にあります。									
活躍が顕著 な部活動		・陸上競技部 5 名 9 種目関東大会出場、3 名沖縄インターハイ出場。 ・柔道部 団体 関東大会出場。 ・電子機械研究部 ロボット競技大会 11 年連続全国大会出場 ・ダンス部 2 年連続関東大会出場 ・機械研究部 HONDA エコラン全国大会 4・5 位入賞 ・弓道部 令和元年全国大会出場 ・写真部 関東写真展出展									
特色ある 学校行事		・体育祭は熊谷市スポーツ文化公園 陸上競技場で実施。本格的なトラックでの競技 はとても盛り上がります。 ・民泊による体験活動を取り入れた修学旅行。今年度は沖縄。									
家庭・地域 との連携		・総合学科 美術探究系列の生徒による地元企業との連携 ・田んぼアートへのボランティア参加 ・書道部・ダンス部の生徒が地域のイベントに参加し、パフォーマンスを披露 ・地域開放型図書館（年間 20 日、土曜日）地域の皆様に利用いただいています。									
進路	状 況	四大	43人	短大	11 人	専門	109 人	就職	129人	その他	12人
	傾 向	・大学進学は、総合学科 文科探究系列・理科探究系列（2018 年度入学生以前は普通 科）からの割合が高く、指定校推薦枠も豊富。主な進学先は、法政大学、獨協大学、 ものづくり大学、立正大学等。平成 30 年度は、早稲田大学、東京理科大学、明治大 学等。 ・就職は工業科、総合学科 商業探究系列からの割合が高く、主な就職先は、関東電気 保安協会、SUBARU、本田技研工業、日本郵便、東和銀行、羽生市役所等。									

(※生徒数：R2.5.1現在、進路はR2.3月卒業生の実績値)

2 入学者選抜情報

＜本校が求める生徒＞ ・目的意識を持ち、進路希望を叶えるための努力を惜しまない生徒 ・基本的な生活習慣を身につけ、学習や部活動に積極的に取り組む姿勢を持っている生徒
＜詳しい入学者選抜基準はこちら＞ （「埼玉県公立高等学校入学者選抜における各高等学校の選抜基準」が別ウィンドウで開きます）

県立進修館高校

～生徒の成長物語 episode I～ ようこそ！進修館高校へ

特色

行田進修館高校

行田工業高校

行田女子高校



【広大な敷地・設備】
東京ドーム 1.7個分
・4つの専用グラウンド
・2つの体育館、格技場
・冷暖房完備

3つの伝統がひとつに

校名の由来 忍藩の藩校名「進修館」

活躍ステージ① 部活動

※陸上競技部の投擲は、毎年関東大会以上



吹奏楽部



機械研究部(エコカー)



ラグビー部



陸上競技部

2年生

総合学科

2年生から各系列での学習がスタートします。

- ・英数国の充実を図り基礎学力の定着を図る教育課程
- ・1年次より週31単位で授業時間を確保

文科探究系列

4年制大学の文科学部進学を目指す

理科探究系列

4年制大学の理科学部進学を目指す

総合教養系列

大学・短大・専門学校・公務員等幅広い進路選択に対応

美術探究系列

デザイン・絵画に分かれ、美術系大学・専門学校進学を目指すし、就職にも対応

商業探究系列

3年次にビジネス・情報に分かれ、商学・経済系大学進学や企業への就職を目指す

工業系3学科

電気システム科

情報メディア科

ものづくり科

2年生は、より専門的な学習となります。

- ・高度な資格取得も本格化。
- ・各学科、系統的で発展的な学習となる。
- ・就職希望者に向けたガイダンスを実施。



1年生

総合学科

単位制です。1年生は共通で系列の授業はありません。「産業社会と人間」でのキャリア教育をとおして、2年次からの「系列」選択を考えます。

工業系3学科

学年制です。工業系3学科では、1年生から専門的な学習が始まり各学科の基礎力を固めます。資格試験への補習も始まります。

「基礎から発展へ」入学してから1年が過ぎ
高校生活の中心学年として活躍！

活躍ステージ② 学校行事

修学旅行（2年生）



文化祭（華蓮祭）



遠足



体育祭
(第1種公認陸上競技場)

※その他、学年別スポーツ競技会や3年生を送る会等が人気の行事です。

本校の教職員



進修館の強み

本校には、熱い情熱と、高い指導力を持った教員達がいます。

設置学科・定員

4学科(総合学科・5系列)

総合学科・200名

平成31年度入学生より普通科を総合学科に統合しました。

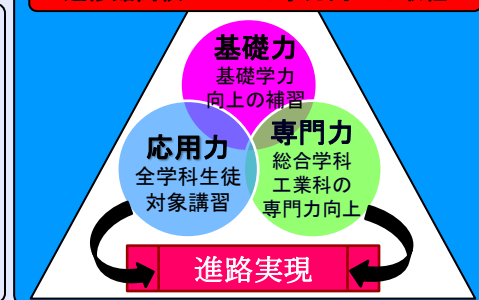
- 部活動で交流
- 学校行事で交流
- 補習資格取得で交流

電気システム科・40名

情報メディア科・40名

ものづくり科・40名

進修館高校 3つの学力向上の取組



総合学科は5系列！

「系列」ってなに？
数多くある選択科目を系統立てて、5つのグループに分けたものを「系列」といいます。この中から将来の進路や興味関心に応じて科目を選択し、**自分だけの時間割**をつくります。

進修館高校の3年後の目標

- 基本的生活習慣の確立
規律ある態度と豊かな人間性を育み、自ら判断し行動する生徒を育成する。
- 学びの充実
基礎学力の確実な向上と、第一希望をかなえる進路指導で個に応じた多様な学びを支援する。
定期考査前の土曜勉強会で「自ら学ぶ集団」「お互いに学び合う集団」を育成する。
- 部活動と学校行事で頑張る進修館生徒の主体的な活動の場として、部活や学校行事をより活性化していく。

3年生

総合学科

工業系3学科

- ・総合学科では、進路希望に合わせてより専門的な授業を選択します。また、総合的な学習の時間で探究した「行田學」の集大成をします。
- ・工業科では、専門教育と高度な技能、職業資格を身につけます。課題研究の発表会があります。

生徒それぞれの

卒業後の進路先

進修館で得た知識や経験は、力になり続けます。



- ・高校生活も最終学年、頑張ってきた勉強や部活動、思い出深い行事や大会、苦労して取得した資格の集大成。目標を実現するためのステージです。

進修館高校は、あなたの未来を応援します！

《行田特別支援学校の活性化・特色化方針》
(令和3年度～)

1 学校基本情報

種別	知的障害	学部・学科	小・中・高等部	児童生徒数	(男)163 (女) 69	計 232																		
ホームページ	https://gyoda-sh.spec.ed.jp/																							
アクセス	< J R 高崎線 > ・吹上駅下車 朝日バス：佐間回り行田折り返し場行 または、総合教育センター行 または、工業団地行 } 産業道路下車 徒歩 15 分 ・行田駅下車 市内循環バス：南大通り線コース 工業団地行 警察署前下車 徒歩 5 分 <秩 父 線> 行田市駅下車 徒歩 40 分																							
教育課程等の特徴	・個別の教育支援計画（プラン A・B）に基づき、合理的配慮のもとに取り組む教育 ・卒業後の社会生活を見据えた、複数の教育課程による高等部の教育 ・交流及び共同学習をととして、地域の子どもたちの相互理解に努める。																							
特色ある学校行事や部活動	・地域の小・中・高等学校との交流学习の実施 ・公共施設等での作品展示や高等部作業班の製品販売																							
家庭・地域との連携	・学校公開の実施（年 2 回） ・学区連絡協議会の開催（年 2 回） ・保護者自由参観の実施（毎学期） ・事業所フェアの実施（夏季休業中） ・PTA 主催夏まつり、クリスマス会の開催																							
進路について	・生徒の能力・適性に応じた柔軟な進路指導を行い、本人・保護者が納得した望ましい進路実現を目指す（一般就労・福祉事業所・グループホーム他）。 ・「産業現場等における実習」をととして、一人ひとりに設定した目標を達成することにより、自己の適性や能力をより確かなものに発展させることで、卒業後の進路を具現化することを目指す。 ・卒業後も 3 年間の追指導（アフターケアの実施）。 ・就労支援アドバイザーや進路指導サポーターとして、障害者就労における専門家を招聘し、より実践的な研修・指導を実施。 <table><tr><td></td><td>卒業者数</td><td>進 学</td><td>企業就労</td><td>福祉的就労</td><td>その他</td></tr><tr><td>中学部</td><td>26</td><td>26</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>高等部</td><td>34</td><td>1</td><td>10</td><td>21</td><td>2</td></tr></table> ・中学部 1 名が熊谷農業高等学校へ、25 名が本校高等部へ進学。 ・主な企業就労先 (株) すかいらくホールディングス、(株) ベルク、(福) 羽生福祉会くわの実 (株) アイセン 他							卒業者数	進 学	企業就労	福祉的就労	その他	中学部	26	26	0	0	0	高等部	34	1	10	21	2
	卒業者数	進 学	企業就労	福祉的就労	その他																			
中学部	26	26	0	0	0																			
高等部	34	1	10	21	2																			

（※児童生徒数：R2.5.1 現在、進路は R2.3 卒業生の実績）

県立行田特別支援学校

～児童生徒の成長物語～

本校の 特 色

- ☐ 自閉症などの障害特性を踏まえ、わかりやすく見通しの持てる指導・支援に努めます。
- ☐ わかる授業づくりで自信を持たせ、学習に取り組む意欲を育てます。



学校行事

地域も応援、全校で
取り組む学校行事

- 運動会
- スマイルまつり
保護者が応援
- PTA主催夏まつり、
クリスマス会

現場実習

働く厳しさを知り、
充実感を体験します。

- 一般企業での
現場実習
- 福祉事業所での
現場実習

高等部

一人一人の力を伸ばす3つ
の教育課程

発展型

充実型

基礎型

- 社会生活職業生活に必要な知識、技能を身に付けます。
- よりよい社会生活が過ごせるよう、余暇を利用する力を身に付けます。

中学部

- 小学部で身に付けた力をさらに伸ばし、自己肯定感を育みながら、クラスや学年での自分の役割に責任をもって取り組む意欲や態度を身に付けます。
- 高等部での学習につなげ、実社会への興味関心のきっかけとなるよう作業学習に取り組み始めます。

地域との連携、センター的機能

- 就学前の教育相談、巡回相談の実施
- 学区域連絡協議会の開催
- 公共施設等での作業製品展示・販売
- 事業所フェアの開催
- 学校公開講座、研修会の開催
- ボランティア養成講座開講

交流及び共同学習

- 通常学級支援籍の取組
- 行田市立東小学校、
行田市立埼玉中学校、
行田市立行田中学校、
誠和福祉高等学校との
交流

小学部

- 生活や学習の基礎となる、大人との信頼関係、基本的生活習慣、身辺自立に必要なスキルを身に付けます。
- 体験活動をととして、社会性の芽生え、規範意識の基礎を身に付けます。

個に応じた支援・指導

- 保護者と合理的配慮について合意形成を図り、個別の教育支援計画、個別の指導計画を作成。
- アセスメントを活用した実態の把握。
- わかる・できる授業づくり。
- 外部専門家の活用
(臨床発達心理士、言語聴覚士など)

行田特別支援学校は、水と緑と人が育む学校